

令和5年度

全国学力・学習状況調査結果の分析と検証

音更町の学力の傾向と改善のポイント

音 更 町 教 育 委 員 会

I 調査・研究の目的と方法等

I 調査・研究の目的と方法等

1 調査・研究の目的

本調査・研究は、本町における児童生徒の学力・学習状況を把握、分析し、学習指導の改善や学習意欲の向上に資する基礎資料を提示することを目的とする。

2 調査・研究の方法

- (1) 本町の小・中学校の調査結果について、「令和5年度 全国学力・学習状況調査 調査結果のポイントについて ～北海道（公立）における調査結果～」(北海道教育委員会)を参考に分析・考察した。
- (2) 国語、算数・数学の設問別調査については「傾向」「正答率の高かった問題」「正答率の低かった問題」「無回答率の高かった問題」「改善のポイント」を掲載した。また、質問紙調査については、音更町教育推進の重点に沿い、授業改善や今後の指導等に資する設問を抜粋、分析を行った。

3 調査・研究の内容

- (1) 全国学力・学習状況調査 調査結果の概要（音更町の傾向の把握）
 - (2) 全国学力・学習状況調査結果分析①
全国を100として正答率が全国値と比べて「最も高かった問題」「最も低かった問題」
 - (3) 全国学力・学習状況調査結果分析②
主に無回答率の数値が全国値と比べて、「特に高かった問題」
 - (4) 質問紙の分析
 - ① 家庭学習等の時間
 - ② 算数・数学の授業内容が分かるか
 - ③ 課題解決に向けた主体的取組
 - ④ 話し合い活動による思考の深化
 - ⑤ 将来の夢や目標
 - ⑥ 自尊感情
 - ⑦ いじめに対する認識
 - ⑧ 家庭学習の計画性
- ※平成28年度から経年比較が可能な設問を選択し直し、経年比較を行なっている。

(5) 調査日

令和5年4月18日（火）

(6) 調査を実施した児童生徒数

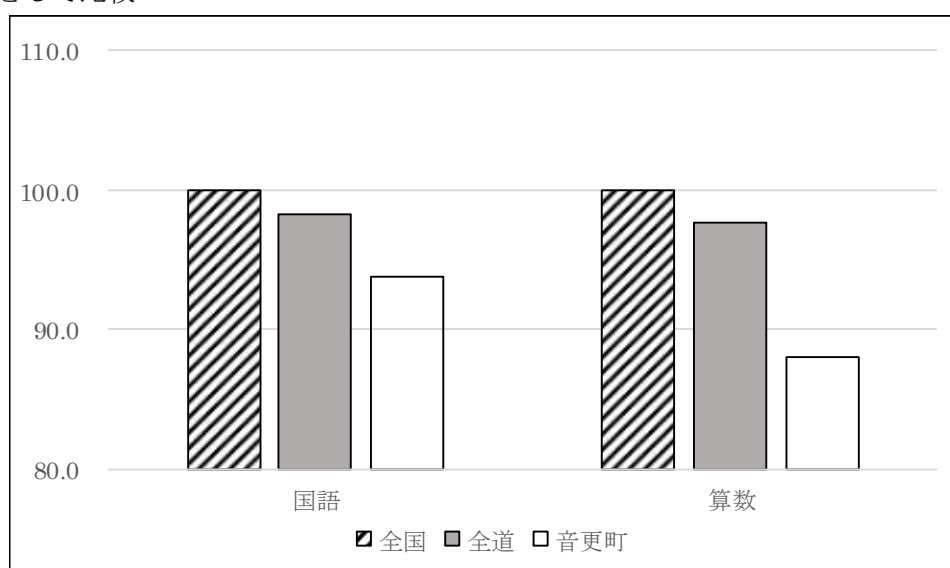
	全 国	北海道	音更町
小学校	964, 177人	35, 645人	342人
中学校	892, 738人	34, 256人	402人

※ 児童生徒数・質問紙の分析は、全国学力・学習状況調査報告書（文部科学省 国立教育政策研究所）及び北海道版調査報告書（北海道教育委員会）を資料として引用した。

Ⅱ 学力調査結果の概要

小学校

※ 全国を 100 として比較



<総評>

国語も算数も全国平均・全道平均を下回る結果になった。国語は全国比 93.8%、算数は全国比 88%である。

<学習指導要領の内容・問題形式>

国語は、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」の全てが全国比 100%以下であり、特に「思考力、判断力、表現力等」の「B 書くこと」が全国比 68.2%であった。問題形式別に見ると、記述式での正答率が全国比 86.9%という結果となった。

全国と比較して、最も低かった問題は「1 二 図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる」問題で全国比 68.2%になった。

全国比が最も高かった問題は「1 三 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる」問題のうち、「漢字を使って書き直す（きかん＝期間）」設問であった。また、無回答率が最も高かった問題は「3 二 目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる」問題であった。

算数は、全領域・観点において全国平均を下回っている。その中で、一番低かったのは、「図形」の領域「2（4）高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる」問題で全国比 54.8%であった。

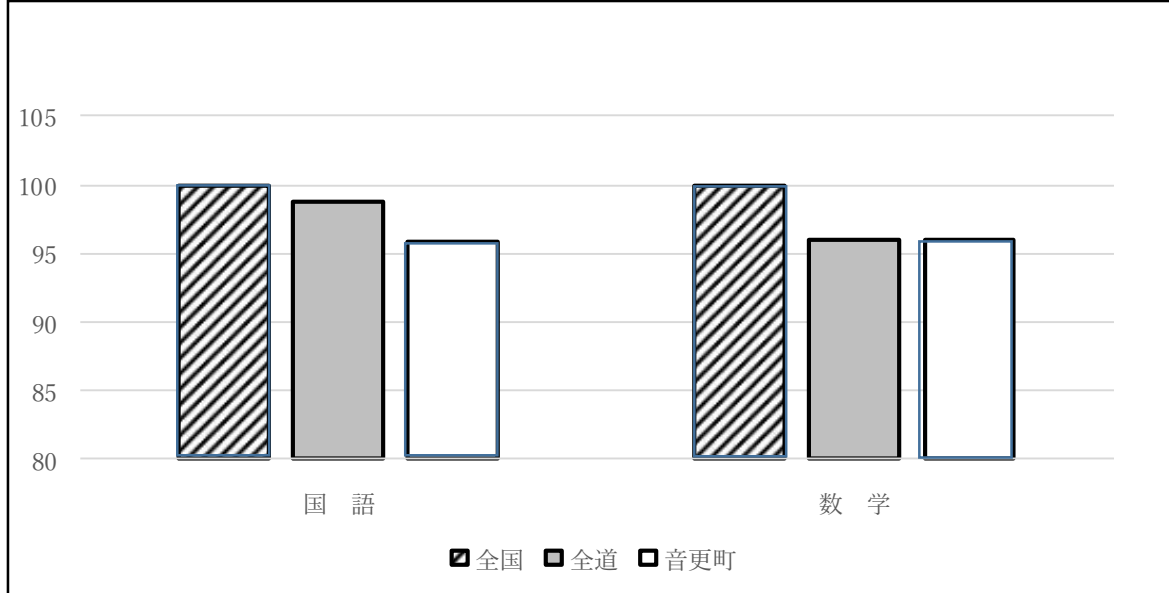
一方「2（2）正方形の意味や性質を理解しているかどうかをみる」問題の全国比が最も高く、また、「4（3）示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる」問題の無回答率が高かった。

<その他>

今年度も昨年度と同様に 2 教科とも全国平均を下回るとともに、昨年度以上に落ち込みが見られる結果となった。しかし、算数では全 16 問のうち 13 問の無回答率が全国比を下回っており、評価すべき点と言える。

中学校

※ 全国を100として比較



〈 総 評 〉

国語も数学も全国平均を若干下回る結果となった。国語は全国比95.9%、数学は、全国比96.0%であった

国語は、「知識及び技能」における「(1)言葉の特徴や使い方に関する事項」は全国比92.3%、「思考力、判断力、表現力等」においては、「A話すこと・聞くこと」「C読むこと」は全国比97%台にとどまったが、「B書くこと」は、全国比94.5%と全国値を大きく下回る結果となった。正答率が最も高かったのは、「2-1 事象や行為、心情を表す語句について理解しているかどうかをみる」問題、最も低かったのは、「3-2 文脈に即して漢字を正しく書くことができるかどうかをみる」問題で全国比71.9%であった。また、無回答率が高かったのは、「4-3 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる」問題で全国比111.6%であった。

数学は、「1 自然数の意味を理解しているかどうかをみる」問題については全国比128%で大きく上回っている。また、「2 数と数式の乗法の計算ができるかどうかをみる」問題でも全国比101%でわずかながら上回っている。

「6(3) 結論が成り立つための前提を、問題解決の過程や結果を振り返って考え、成り立つ事柄を見だし、説明することができるかどうかをみる」問題では全国比83.4%、「4 反比例の意味を理解しているかどうかをみる」問題では全国比85.5%で大きく下回っている。

無回答率が最も高かったのは、「9(1) ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することができるかどうかをみる」問題であった。

小学校国語

○ 正答率の全国比が最も高かった問題（全国を100としてみたとき）

雑草取りを続けたのですが、アいがいに雑草が生えてきて、とてもこまりました。

ウきかんは7月1日から15日までです。

(1)

—— 部ア、ウを漢字でていねいに書きましょう。

三 川村さんは、「川村さんの文章」を読み返し、習っている漢字がひらがなになっていたイ、ウを漢字に書き直すことにしました。次の(1)と(2)の問いに答えましょう。—— 部ア、

問題1 三(1)ウ 正答率全国比 99.3% (音更町正答率 72.1%・全国正答率 72.6%)

「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる」問題

小学校国語

- 正答率の全国比が最も低かった問題（全国を100としてみたとき）

【川村さんの文章】

学校の田んぼで取り組んだ米作りの問題点とその解決方法

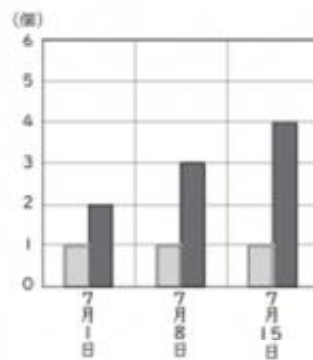
今年の米作りでは、たくさんのお米をしゅうかくすることができました。しゅうかくまでに、いくつかの問題がありました。その中でも特に伝えたい問題点とその解決方法について説明します。

5月下じゅんに学校の田んぼになえを植えました。6月の終わりまで、週に1回、グループの3人で雑草取りを続けたのですが、アいがいに雑草が生えてきて、とてもこまりました。そこで、雑草の量について、農家の田んぼとイくらべてみました。ウきかんは7月1日から15日までです。

右のグラフは、その結果をもとにして作ったものです。



農家の田んぼと学校の田んぼの雑草の量



10㎡あたりの雑草を取って同じ大きさのバケツに入れ、その個数を雑草の量とする。

このようなことに取り組み、9月の下じゅんにお米をしゅうかくすることができました。

二 川村さんは、選んだカードをもとに、次の「川村さんの文章」の問題点とその解決方法について書こうとしています。あなたが川村さんなら、どのように書きますか。あとの条件に合わせて書きましよう。

に学校の米作りの
に入る内容を

（条件）

- 学校の米作りの問題点については、「川村さんの文章」のグラフ（農家の田んぼと学校の田んぼの雑草の量）と「カード④」のそれぞれから分かることを書くこと。
- 問題点の解決方法については、「カード⑤」をもとにして書くこと。
- 六十字以上、百字以内にまとめて書くこと。

※上の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。

解答は、解答用紙に書きましょう。

※◆の印から書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。

問題1 二 正答率全国比 68.2%（音更町正答率 18.2%・全国正答率 26.7%）

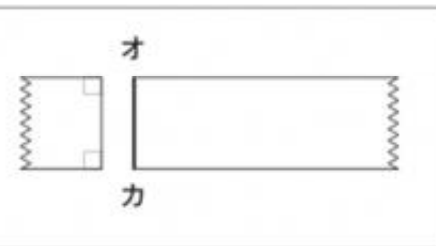
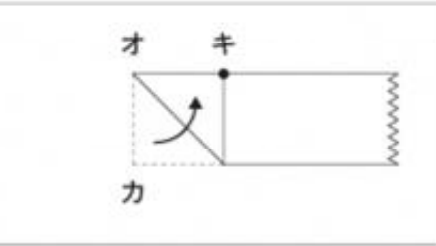
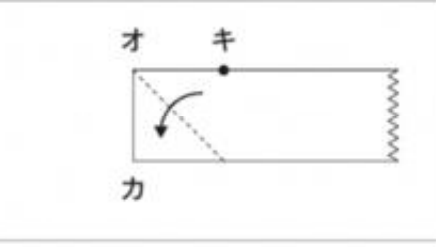
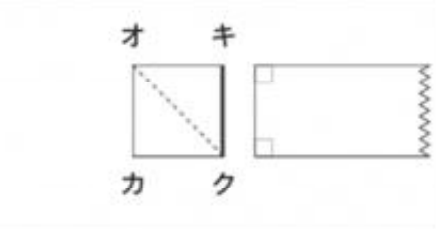
「図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる」問題

小学校算数

○正答率の全国比が最も高かった問題（全国を 100 としてみたとき）

次に、ゆいなさんは、下のようにつくり方で四角形をつくりました。

【ゆいなさんのつくり方】

<p>① 上の直線に垂直な直線オカで切ります。</p>	
<p>② 右の図のように、直線オカが上の直線に重なるように折り、点キが重なったところを点キとし、印をつけます。</p>	
<p>③ 折ったものをもどします。</p>	
<p>④ 点キを通過して、上の直線に垂直な直線クで切ると、四角形オカクキができました。</p>	

上のつくり方でできた四角形オカクキは、どのような四角形ですか。
その四角形の名前を書きましょう。

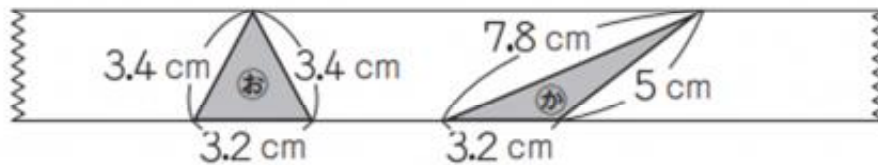
問題 2 (2) 正答率全国比 98.9% (音更町正答率 86.3%・全国正答率 87.2%)

「正方形の意味や性質について理解しているかどうかをみる」問題

小学校算数

●正答率の全国比が最も低かった問題（全国を100としてみたとき）

(4) えいたさんたちは、テープを直線で切って、下のような㊟と㊦の2つの三角形をつくります。



上の㊟と㊦の三角形の面積について、どのようなことがわかりますか。
下の **1** から **4** までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。
また、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。

- 1 ㊟の面積のほうが大きい。
- 2 ㊦の面積のほうが大きい。
- 3 ㊟と㊦の面積は等しい。
- 4 ㊟と㊦の面積は、このままでは比べることができない。

問題 2 (4) 正答率全国比 54.8% (音更町正答率 11.4%・全国正答率 20.8%)

「高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大きさを判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる」問題

中学校国語

○正答率の全国比が最も高かった問題（全国を100としてみたとき）

②

一 線部「落胆する」の意味として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ
選びなさい。

4 3 2 1

慌てる
恐れる
恥ずかしがる
がっかりする

問題 ② 一 正答率全国比 102.09%（音更正答率 93.0%、全国正答率 91.1%）

「文脈に即して、事象や行為、心情を表す語句について理解しているかを問う」問題において、『落胆する』の意味として適するものを選択する設問

中学校国語

○正答率の全国比が最も低かった問題（全国を100としてみたとき）

3

二

一 山田さんは、「1. はじめに」の線部「もち」を「もつたため」に直すことになりました。その意図として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

1 「判じ絵」を知ったきっかけを明確にしようとした。

2 「判じ絵」が現代に伝わった理由を明確にしようとした。

3 「判じ絵」に興味をもつたきっかけを明確にしようとした。

4 「判じ絵」を調べることにした理由を明確にしようとした。

二 線部のひらがなを漢字に直し、書楷かいいま^まで^まていねいに書きなさい。

三 山田さんは、「判じ絵」とは何か」と見出しを付けた文章を内容のまとまりで二つに分け、後半のまとまりには分けた内容

問題 3 二 正答率全国比 71.9% (音更正答率 31.6%・全国正答率 43.9%)

文脈に即して、「おし量って」の漢字を正しく書くことができるかどうかをみる問題

中学校数学

○正答率の全国比が最も高かった問題（全国を100としてみたとき）

1 下のアからオまでの数の中から自然数をすべて選びなさい。

ア -5
イ 0
ウ 3
エ 4.7
オ 9

問題1 正答率全国比 128%（音更正答率 59.0%・全国正答率 46.1%）
「自然数の意味を理解しているかどうかをみる」問題

中学校数学

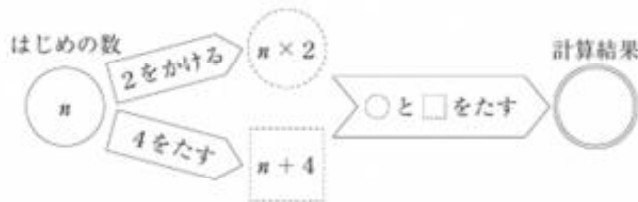
●正答率の全国比が最も低かった問題（全国を100としてみたとき）

6

(3) 夏希さんは、7ページの図1の「2をかける」のかける数「2」は変えずに、「3をたす」のたす数「3」を4の倍数である「4」や「8」に変えれば、計算結果がいつでも4の倍数になると考えました。そして、はじめの数としてどんな整数を入れても「はじめの数にかける数が2、たす数が4ならば、計算結果はいつでも4の倍数になる」と予想しました。

そこで、夏希さんは、はじめの数として入れる整数を n とし、次の図3をかき、下のように計算しました。

図3



夏希さんの計算

はじめの数として入れる整数を n とすると、はじめの数に2をかけた数は $n \times 2$ 、4をたした数は $n + 4$ と表される。計算結果は、
$$n \times 2 + (n + 4)$$
$$= 2n + n + 4$$
$$= 3n + 4$$

計算結果が $3n + 4$ となることから、はじめの数としてどんな整数を入れても「はじめの数にかける数が2、たす数が4ならば、計算結果はいつでも4の倍数になる」という予想は成り立たないことがわかります。

上の夏希さんの計算をもとに考えたとき、はじめの数にける数がいくつ、たす数がいくつならば、計算結果はいつでも4の倍数になると予想できますか。「～ならば、……になる」という形で書きなさい。

問題6 (3) 正答率全国比 83.4% (音更正答率 34.1%・全国正答率 40.9%)

「結論が成り立つための前提を、問題解決の過程や結果を振り返って考え、成り立つ事柄を見だし、説明することができるかどうかをみる」問題

IV 学力調査結果の分析②

主に無回答率が全国比 100 を上回り、無回答率の数値が特に高い問題

小学校国語

●無回答率が全国比 100 を上回り、無回答率が特に高い問題

3

谷さんの手紙では、学校ボランティアの人たちを全校にしよいかいするため、自分の相手を決めてインタビューをするにしました。次は「谷さんの考え」と「インタビューの様子」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【谷さんの考え】

学校ボランティアの中で、登下校でお世話になっている見守りボランティアの方は、毎朝早くから大変そう。どうして続けているのだから。私の通学路に立ってくださって
いる寺田さんと山本さんにインタビューをして、お二人の思いを聞いてみよう。



【インタビューの様子】

谷さん

こんにちは。いつも私たちの登下校を見守ってくださり、ありがとうございます。今日は、お二人からお話を聞きたいので、どうぞよろしくお願いします。

お二人は、毎朝七時三十分から活動されているそうですね。大変ではありませんか。

確かに朝早いのは大変です。でも、私は、子供たちに安全に登下校をしてほしいと思っています。

山本さん

私は、最近この地域に住むようになり、見守りボランティアを始めました。慣れないうちは大変でしたが、今では元気をもらっています。

谷さん

そうなのですね。元気をもらっているということについて、もう少し詳しく教えてください。

山本さん

子供たちから、「いつも見守ってくれてありがとうございます。」と声をかけてもらうことがあり、そんなときは元気が出てきます。町で出会った保護者の方が「いつもありがとうございます。」と書いてくださることもあり、やりがいを感じています。

谷さん

やりがいというのは、ボランティアをやっているだけでよかったということだと思いますが、合っていますか。

山本さん

はい、そのとおりです。ボランティアをやって本当によかったと思っています。子供たちの安全を守るために、役に立っていると感じられるので、大変さよりもやりがいのほうが大きいです。

谷さん

なるほど、そうなのですね。

寺田さん

私も子供たちが安全に登下校している様子を見ることがうれしくなり、やりがいを感じます。子供たちのすてきな姿を見るときには、さらにうれしい気持ちになります。ボランティアをしていてよかったなと思います。

谷さん

すてきな姿というのは、どのような姿ですか。

寺田さん

一人で下校する友達に声をかけている姿や、上級生が下級生の手を引いて歩いている姿などです。そんな姿を見ると、とてもうれしい気持ちになります。

谷さん

そんなふう言っていただけで、私もうれしいです。

はじめは、見守りボランティアの仕事は大変なことばかりだと思っていましたが、全校のみんなに伝えたいです。ありがとうございます。

全校のみんなに伝えたいです。ありがとうございます。

「インタビューの様子」で、谷さんが、部アと部イのように質問した理由について、次の(1)と(2)の問いに答えましょう。

(1) 谷さんが、部アのように質問した理由として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

1 相手の活動の予定を、より具体的に知るため。

2 相手の話の内容を、より具体的に知るため。

3 自分の理解が正しいかどうかを相手に確かめるため。

4 自分の行動が可能かどうかを相手に確かめるため。

(2) 谷さんが、部イのように質問した理由として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

1 相手の活動の予定を、より具体的に知るため。

2 相手の話の内容を、より具体的に知るため。

3 自分の理解が正しいかどうかを相手に確かめるため。

4 自分の行動が可能かどうかを相手に確かめるため。

次ページへ続く

小学校算数

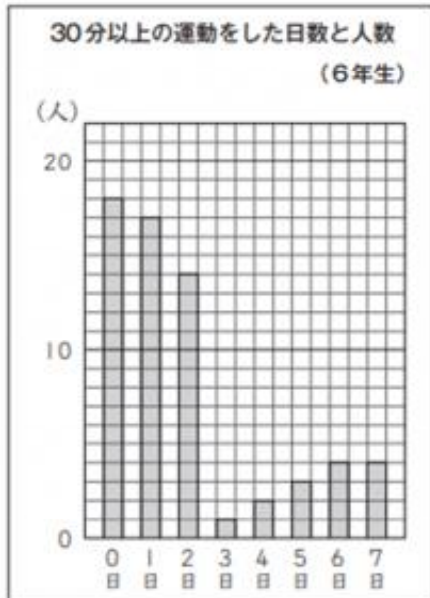
●無回答率が全国比 100 を上回り、無回答率が特に高い問題

(3) あいかさんたちは、5年生と6年生に運動カードを配って調べた結果をポスターにのせるために、30分以上の運動をした日数と人数をグラフに表すことにしました。



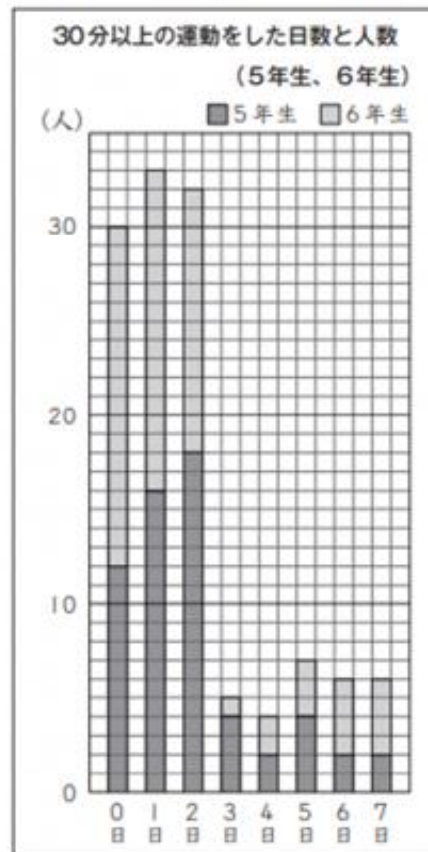
あいか

自分の学年である6年生の結果を表しました。



はやと

5年生と6年生を合わせた結果を表しました。



あいかさんたちは、左の2つのグラフをもとに、気づいたことについて話し合っています。



あいか

どちらのグラフも「0日」、「1日」、「2日」の人数が多いということが同じですね。



はやと

でも、2つのグラフをくわしく見ると、ちがうところもありますね。

そこで、あいかさんたちは、日数に着目して、2つのグラフのちがうところを、次のようにまとめました。

【「0日」についてまとめたこと】

「0日」に着目すると、次のようなちがいがあります。

6年生のグラフでは「0日」の人数が1番目に多く、5年生と6年生を合わせたグラフでは「0日」の人数が3番目に多いです。

【「0日」についてまとめたこと】と同じように、「1日」に着目してまとめると、どのようになりますか。

下の の中に、「6年生のグラフ」、「5年生と6年生を合わせたグラフ」、「番目」の3つの言葉と数を使って書きましょう。

【「1日」についてまとめたこと】

「1日」に着目すると、次のようなちがいがあります。

※ 解答は、すべて解答用紙に書きましょう。

問題4(3) 無回答率全国比 105.8% (音更町無回答率 14.6%・全国無回答率 13.8%)

「示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる」問題

中学校国語

○無回答率が全国比 100 を上回り、無回答率が特に高い問題

4

三

【学校図書館で見つけた「竹取物語」の一部】は、古典の作品である「竹取物語」に、作家の星新一が工夫を加えて現代語で書いたものです。どこがどのように工夫されていると考えられますか。【授業で読んだ「竹取物語」の一部】や【学校図書館で見つけた「竹取物語」の一部】の表現を取り上げて、あなたの考えを書きなさい。なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

問題 4 三 無回答率 全国比 111.6% (音更町無回答率 23.1% 全国無回答率 20.7%)

「文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる」問題。

中学校数学

●無回答率が全国比 100 を上回り、無回答率が特に高い問題

- 9 次の図1のように、 $CA = CB$ の二等辺三角形ABCと、 $\triangle ABC \cong \triangle DEF$ となるような $\triangle DEF$ の2つの三角形を厚紙で作ります。

図1

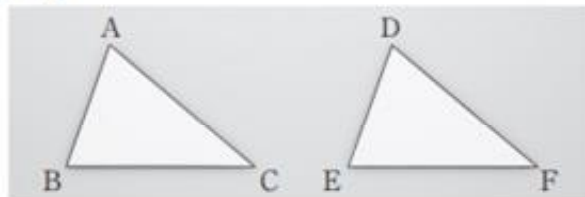
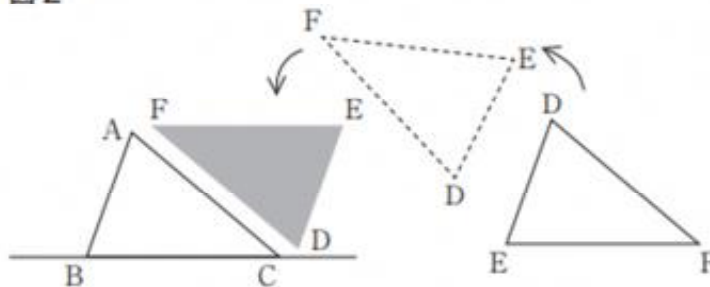


図1の2つの三角形の厚紙を使って、次の方法1と方法2でそれぞれ2つの直線をひきます。

方法1

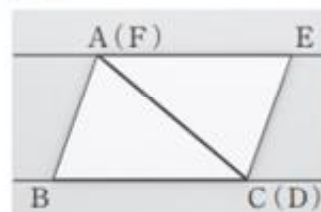
- ① $\triangle ABC$ を置いて、直線BCをひく。そして、図2のように、 $\triangle DEF$ を回して、点Fを点Aに、点Dを点Cに重ねる。

図2



- ② 図3のように、点Aと点Fが重なった点をAとして、直線AEをひく。また、点Cと点Dが重なった点をCとする。

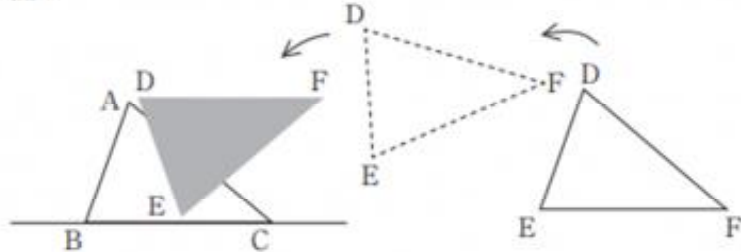
図3



方法2

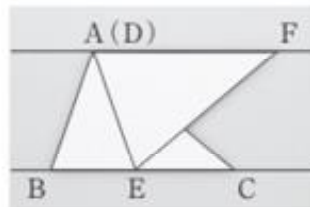
- ① $\triangle ABC$ を置いて、直線BCをひく。そして、**図4**のように、 $\triangle DEF$ を回して、点Dを点Aに、点Eを直線BC上に置く。ただし、点Eは点Bと重ならないように置く。

図4



- ② **図5**のように、点Aと点Dが重なった点をAとして、直線AFをひく。

図5



優奈さんは、**方法1**の直線BCと直線AE、**方法2**の直線BCと直線AFがそれぞれ平行になるのではないかと考え、調べることにしました。

次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。

- (1) 優奈さんは、前ページの方法1の直線BCと直線AEが平行になるかどうかを調べるために、右の**図6**をかきました。**図6**の $\triangle ABC$ と $\triangle CEA$ は、それぞれ $CA = CB$ 、 $AC = AE$ で、 $\triangle ABC \cong \triangle CEA$ です。

図6

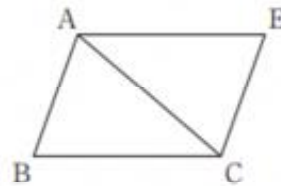


図6において、 $BC \parallel AE$ であることは、すでにわかっている $\triangle ABC \cong \triangle CEA$ をもとにして、同位角または錯角が等しいことを示すことで証明できます。 $BC \parallel AE$ であることを証明しなさい。

問題9 (1) 無回答率 全国比 104.9% (音更無回答率 25.9%・全国無回答率 24.7%)
「ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することができるかどうかをみる」
問題

V 質問紙の分析

今年度の「教育行政執行方針」や音更町の重点課題解決に直結する質問項目に絞った分析を行った。

『確かな学力の向上』から「家庭学習習慣の定着」「分かる授業」「主体的課題解決」「話し合い活動」に関する項目を選択した。

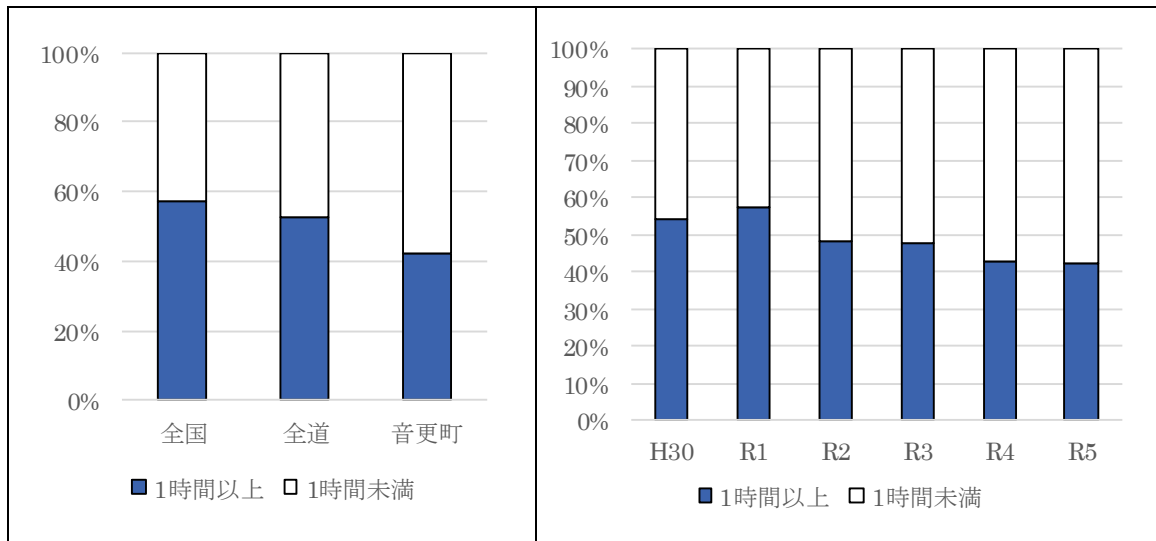
また、『豊かな心の育成』から「将来の夢や目標」「自尊感情」「いじめ」に関する項目を選択した。

1. 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

<小学校>

【令和5年度】

【経年変化】

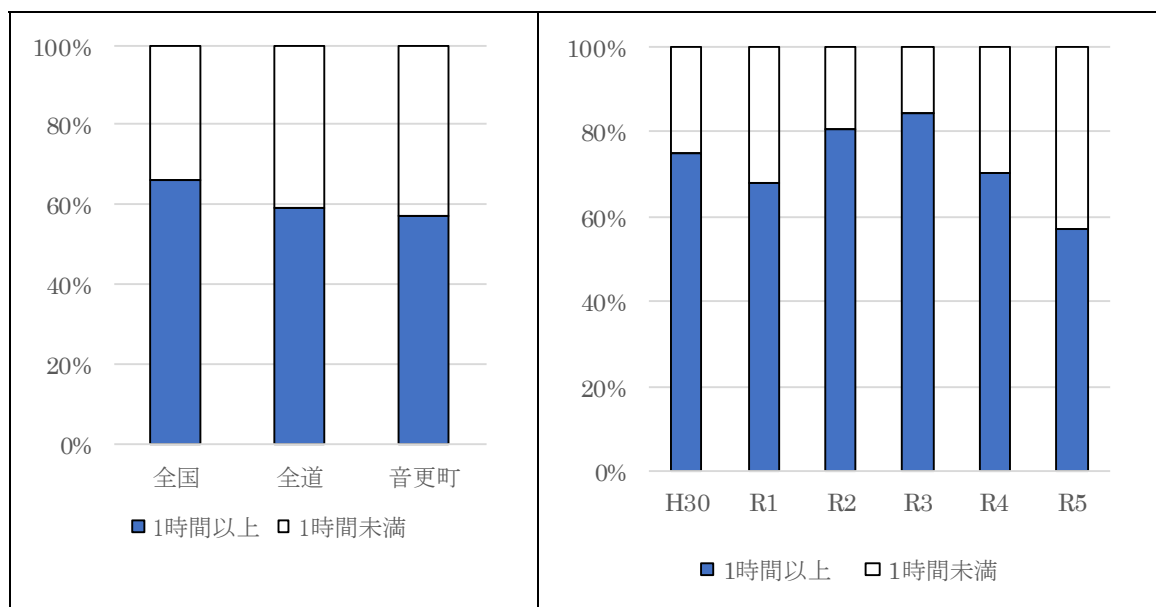


「1時間以上勉強している」という回答をした割合は、42.3%で半数を下回っている。経年比較では、「1時間以上勉強している」という回答は3年間で徐々に減ってきており、前回より0.5ポイント低くなった。なお、音更町6年生児童の350人中37.1%（130人）が、勉強時間を「30分以上、1時間より少ない」と回答している。

<中学校>

【令和5年度】

【経年変化】



「1時間以上勉強をしている」という回答をした割合は、57.1%で全国より8.7ポイント下回っている。また、全体の23.4%が「2時間以上、3時間より少ない」と回答し、全道値を上回った。経年比較では、「1時間以上勉強をしている」と回答した割合が、50%を超える水準は維持しているものの、減少傾向にあり、前回より12.9ポイント減っている。

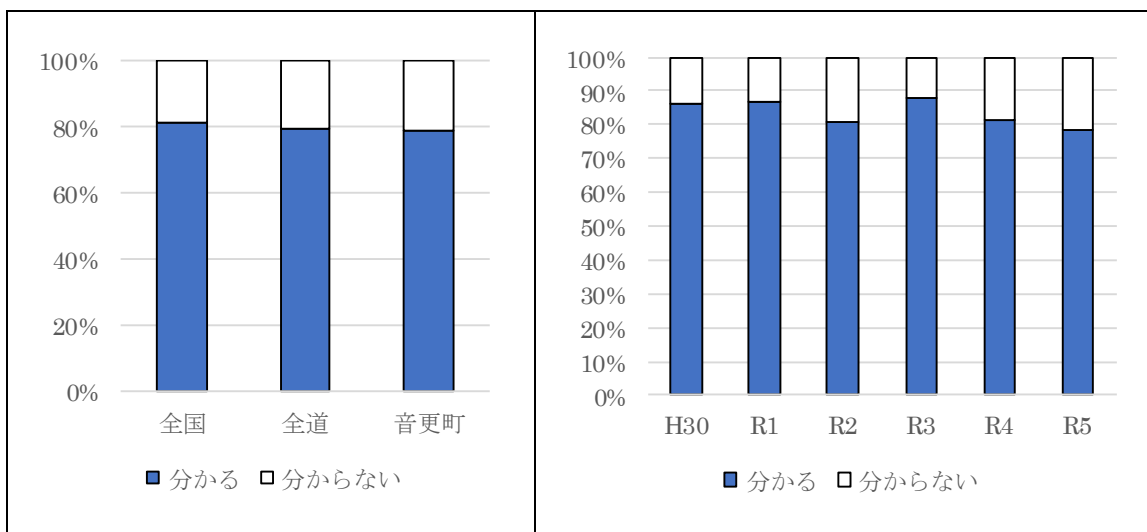
2. 算数・数学の授業の内容は、よく分かりますか。

※グラフの「分かる」は、「当てはまる」・「どちらかといえば、当てはまる」の合計

<小学校>

【令和5年度】

【経年変化】

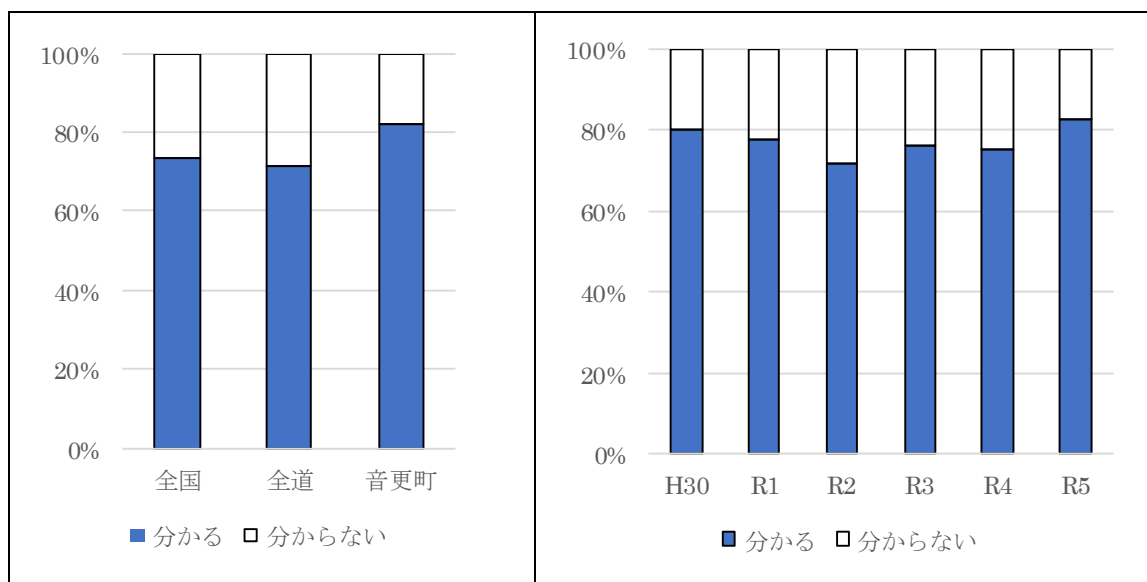


「分かる」と回答した割合は、78.3%で全国より 2.9 ポイント、全道より 0.9 ポイント下回った。経年比較では、H30 年度から「分かる」の回答率が 80% を超え、高い水準を維持してきたが、前年度よりも 3.1 ポイント下回り、「分からない」と感じる児童が増えている。

<中学校>

【令和5年度】

【経年変化】



「分かる」と回答した割合は、81.8%で全国より 8.5 ポイント、全道より 10.5 ポイント上回った。経年比較では、「分かる」の回答率が 80% を越え、70% 台の高水準を維持してきた過去 5 年間の中でも最も高い割合となった。

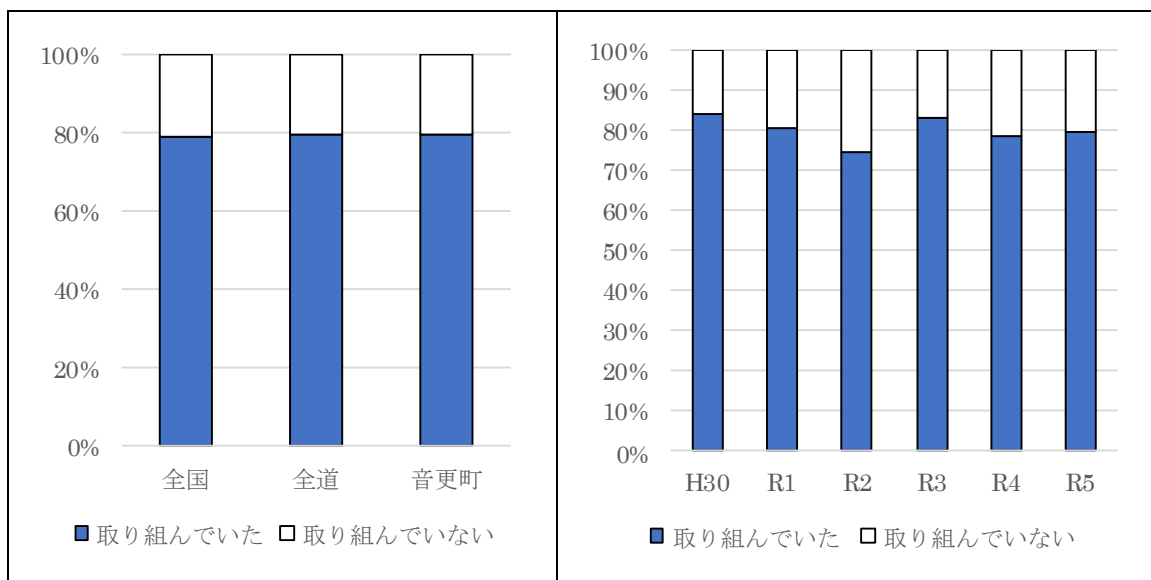
3. 昨年度までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。

※グラフの「取り組んでいた」は、「当てはまる」・「どちらかといえば、当てはまる」の合計

<小学校>

【令和5年度】

【経年変化】

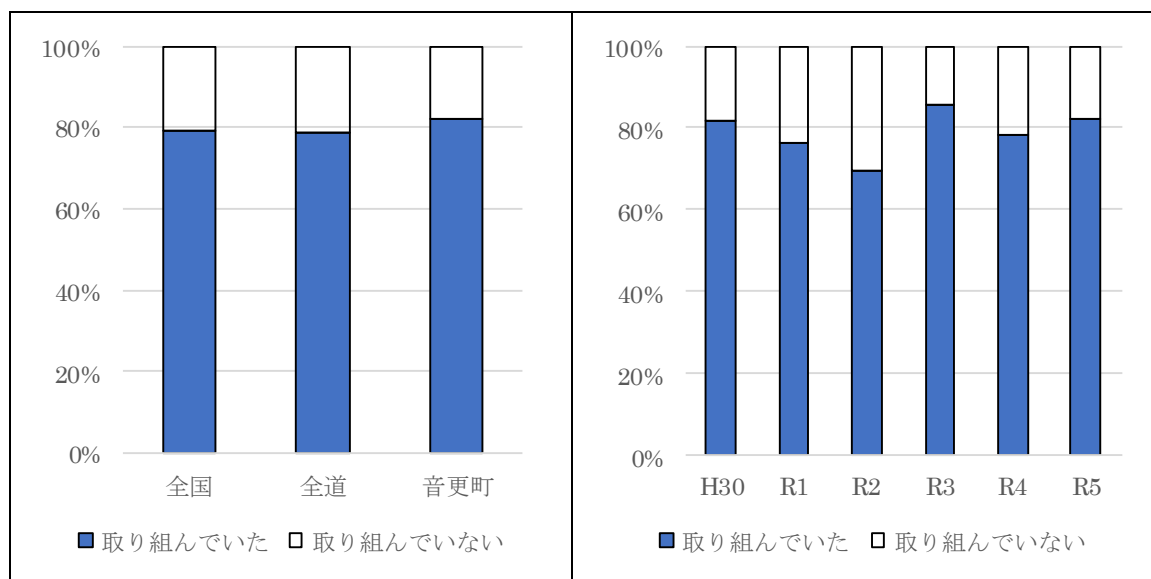


「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と回答した割合は、79.4%で全国より0.6ポイント上回り、全道と同等だった。経年比較では、「取り組んでいた」の回答率が前年度より1ポイント下回ったが、高い水準を維持している。

<中学校>

【令和5年度】

【経年変化】



「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と回答した割合は、82%で全国より、2.8ポイント、全道より3.4ポイント上回っている。経年比較では前回は3.8ポイント上回り、高い水準である。

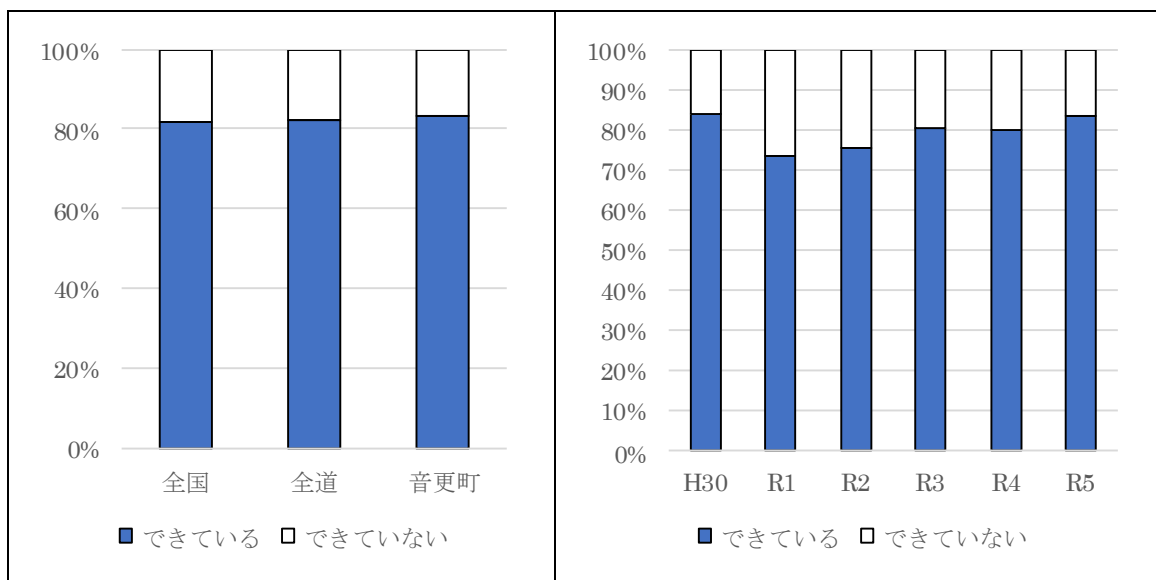
4. 話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。

※グラフの「できている」は、「当てはまる」・「どちらかといえば、当てはまる」の合計

<小学校>

【令和5年度】

【経年変化】

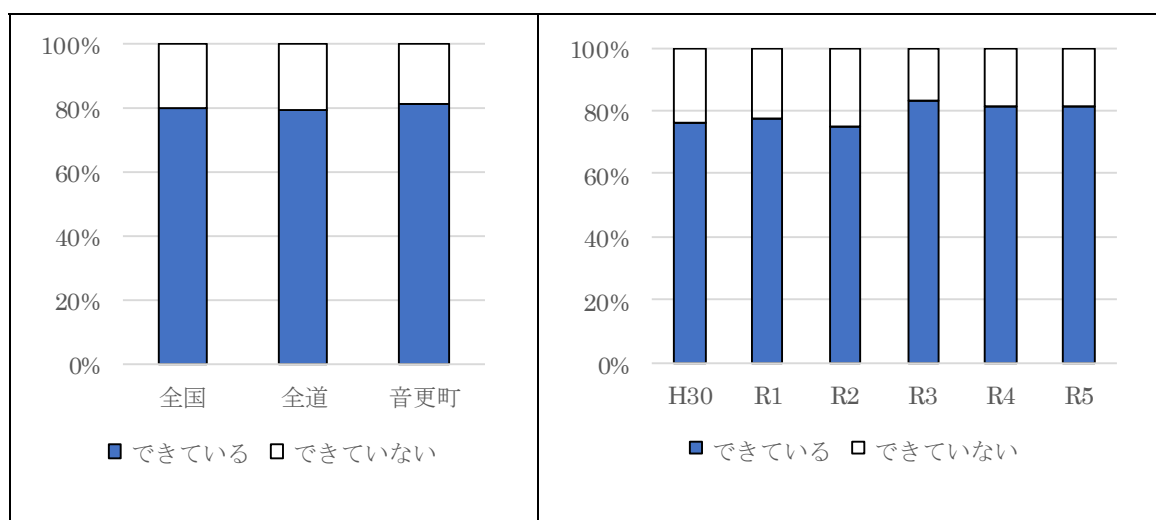


「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と回答した割合は、83.1%で全国より1.3ポイント、全道より0.7ポイント上回った。経年比較では、昨年度の割合を3ポイント上回り、80%を超える水準に達している。

<中学校>

【令和5年度】

【経年変化】



「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と回答した割合は、81.0%で、全国を1.3ポイント、全道を1.8ポイント上回った。経年比較では、R3年度から「できている」の回答率は80%台を維持している。今年度は前回は0.1ポイント下回ったが、高い水準であった。

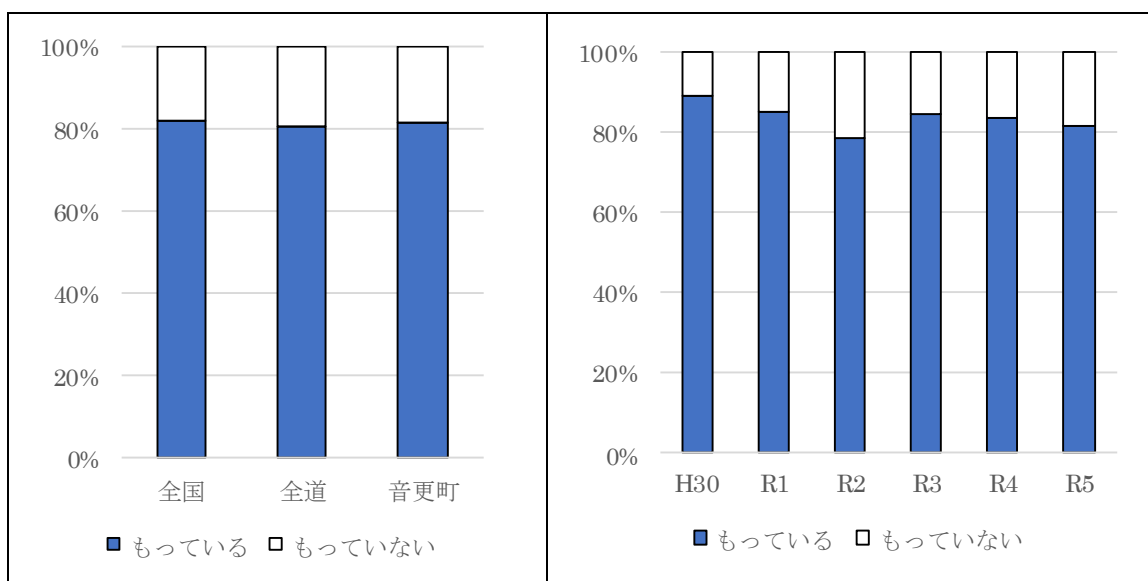
5. 将来の夢や目標をもっていますか。

※グラフの「もっている」は、「当てはまる」・「どちらかといえば、当てはまる」の合計

<小学校>

【令和5年度】

【経年変化】

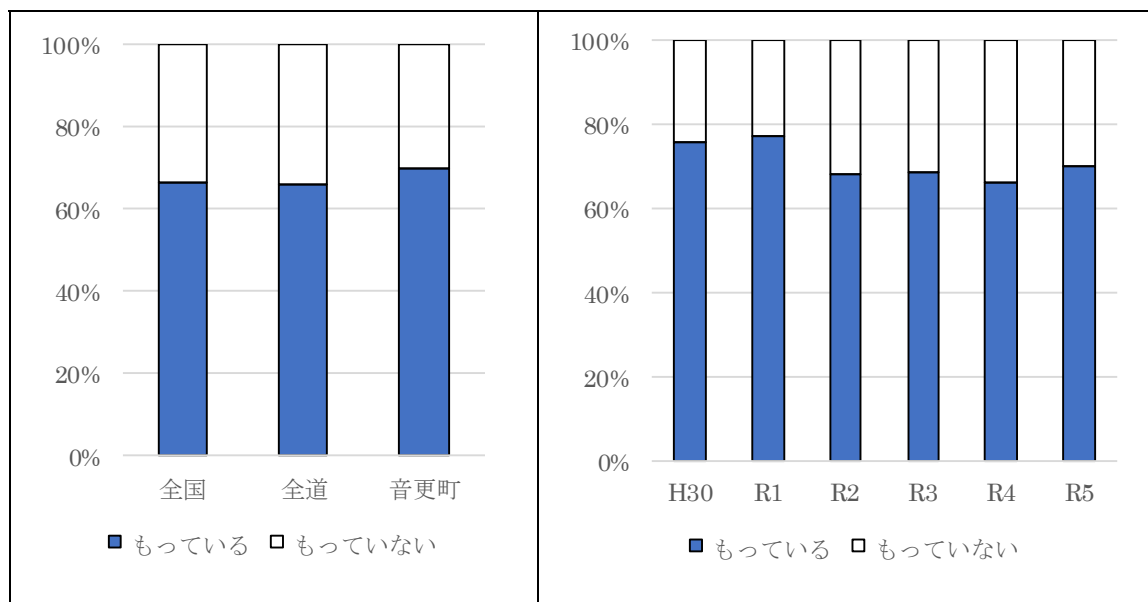


「将来の夢や目標をもっている」と回答した割合は、81.1%で全道より0.7ポイント上回った。経年比較では、「もっている」の回答率がH30年度を境に少しずつだが下降していたが、R3年度からは80%台を維持している。

<中学校>

【令和5年度】

【経年変化】



「将来の夢や目標をもっている」と回答した割合は、69.8%で全国より3.5ポイント、全道より4ポイント上回った。経年比較では、R1年度を境に少しずつ下降していたが、今年度、前年度より4ポイント上回る結果となり、「将来の夢や目標をもっている」生徒の割合が増加してきている。

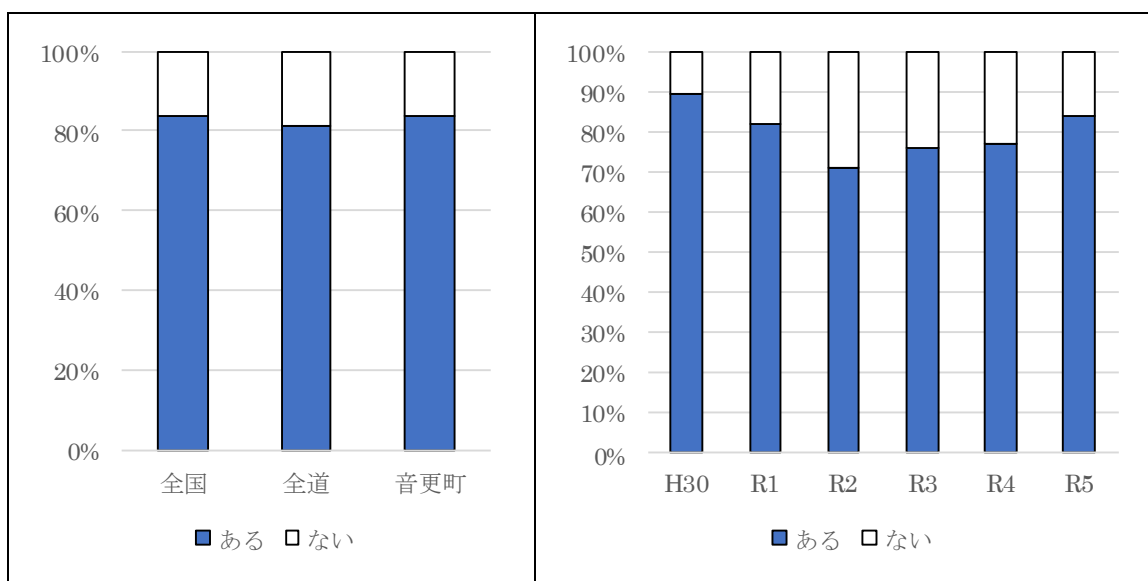
6. 自分には、よいところがあると思いますか。

※グラフの「ある」は、「当てはまる」・「どちらかといえば、当てはまる」の合計

<小学校>

【令和5年度】

【経年変化】

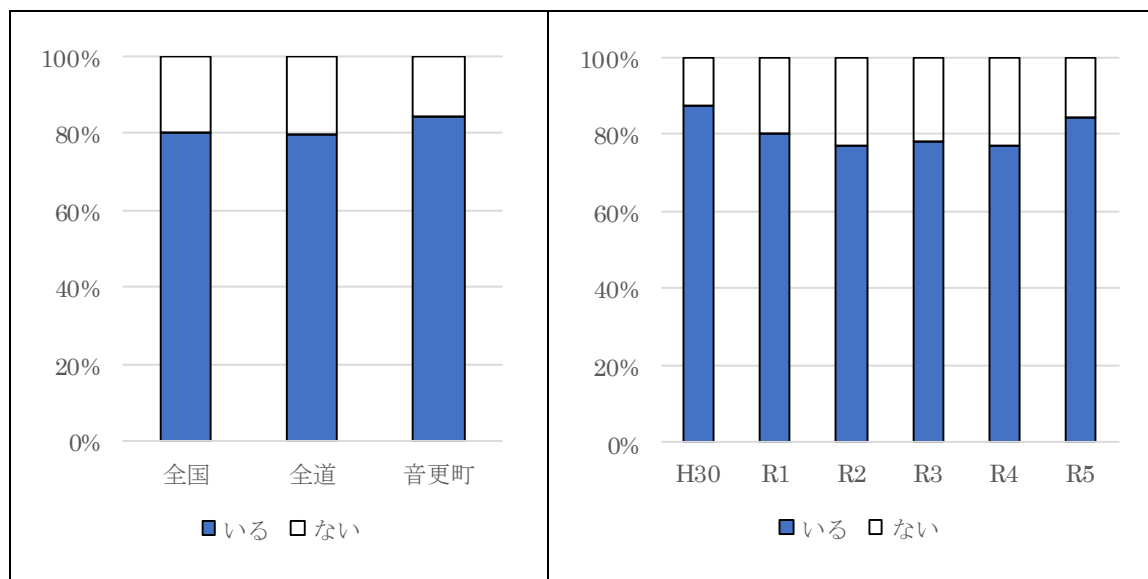


「自分には、よいところがある」と回答した割合は、83.8%で、全国より0.5ポイント、全道より2.7ポイント上回っている。経年比較では、「ある」の回答率が今回は83.8%で、前回は6.9ポイント上回っており、R3年度から年々、上昇してきている。

<中学校>

【令和5年度】

【経年変化】



「自分には、よいところがある」と回答した割合は、84.0%で、全国を4ポイント、全道を4.4ポイント上回った。経年比較では、「ある」の回答率が、H30年度を境に少しずつ下降してきていたが、今年度は前回は7.3ポイント上回っており、大幅に上昇している。

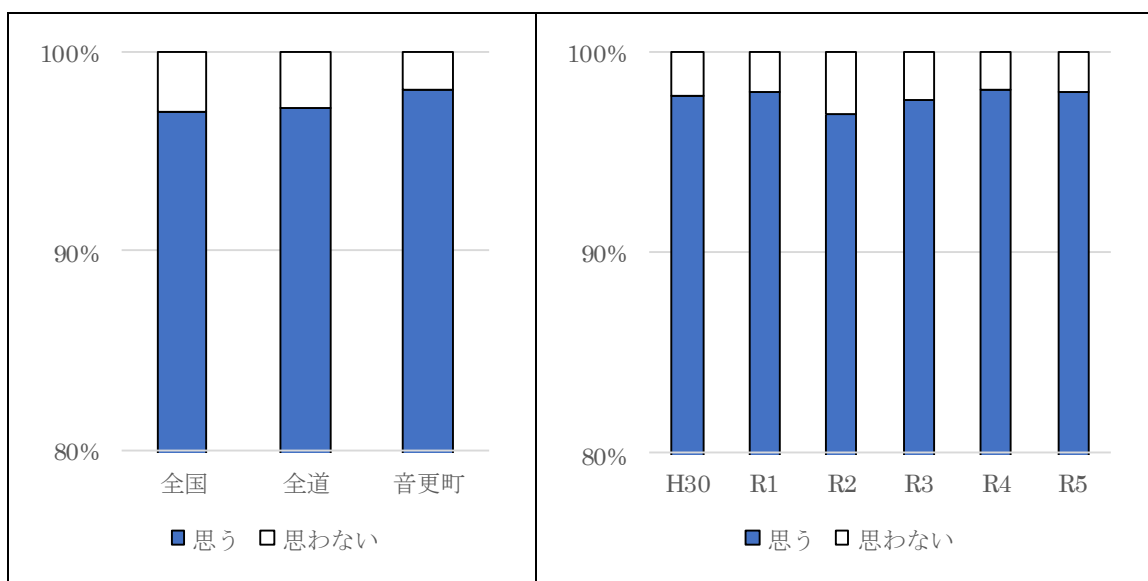
7. いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。

※グラフの「思う」は、「当てはまる」・「どちらかといえば、当てはまる」の合計

<小学校>

【令和5年度】

【経年変化】

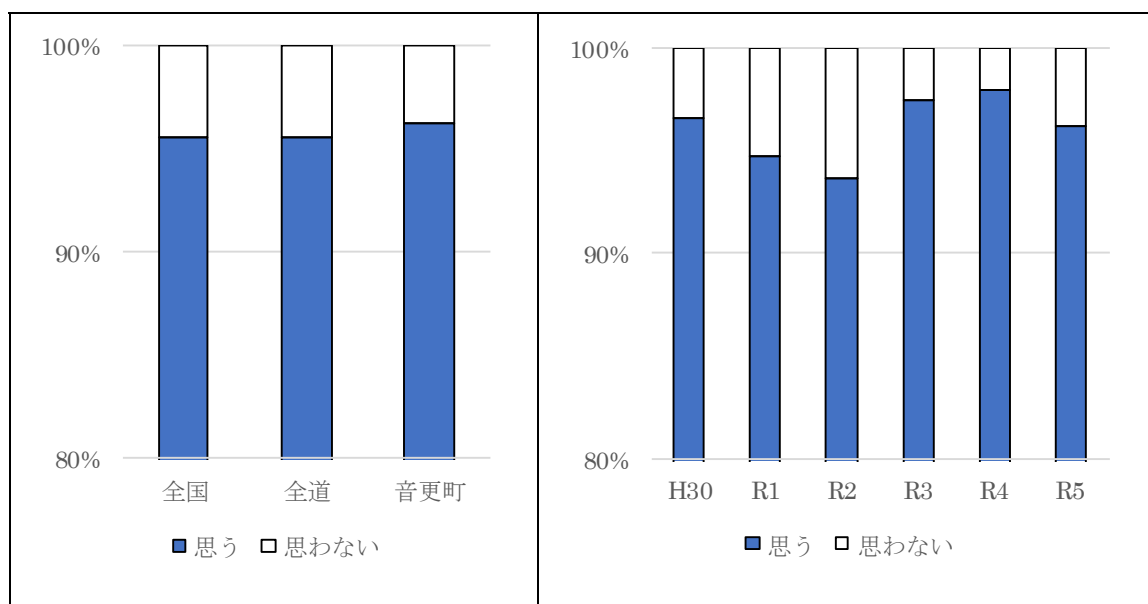


「いじめはどんなことがあってもいけないこと」と回答した割合は、98.0%であり、全国より1.1ポイント、全道より0.9ポイント上回っている。経年比較では、「思う」の回答率が98.0%と今年度は前回とおおよそ同等の数値となり、100%が目前の高い水準を維持している。

<中学校>

【令和5年度】

【経年変化】



「いじめはどんなことがあってもいけないこと」と回答した割合は、96.2%で全国・全道の割合の95.5%を若干上回っている。経年比較では、「思う」と回答した割合が前回は下回る数値を示しているが、いじめに対する認識が高い水準を維持している。

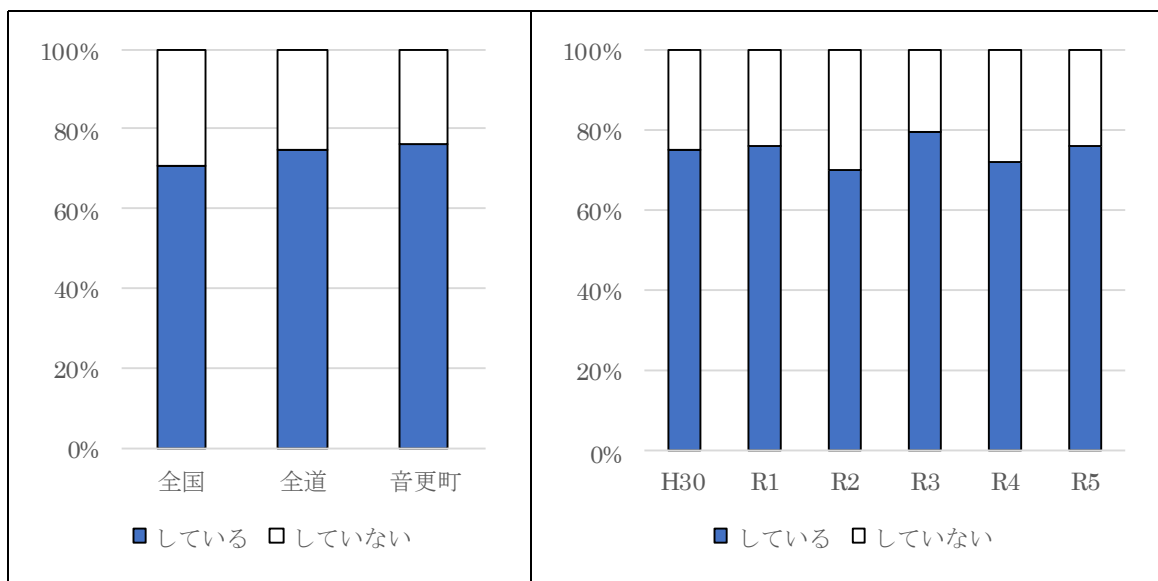
8. 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。

※グラフの「している」は、「している」・「ときどき、している」の合計

<小学校>

【令和5年度】

【経年変化】

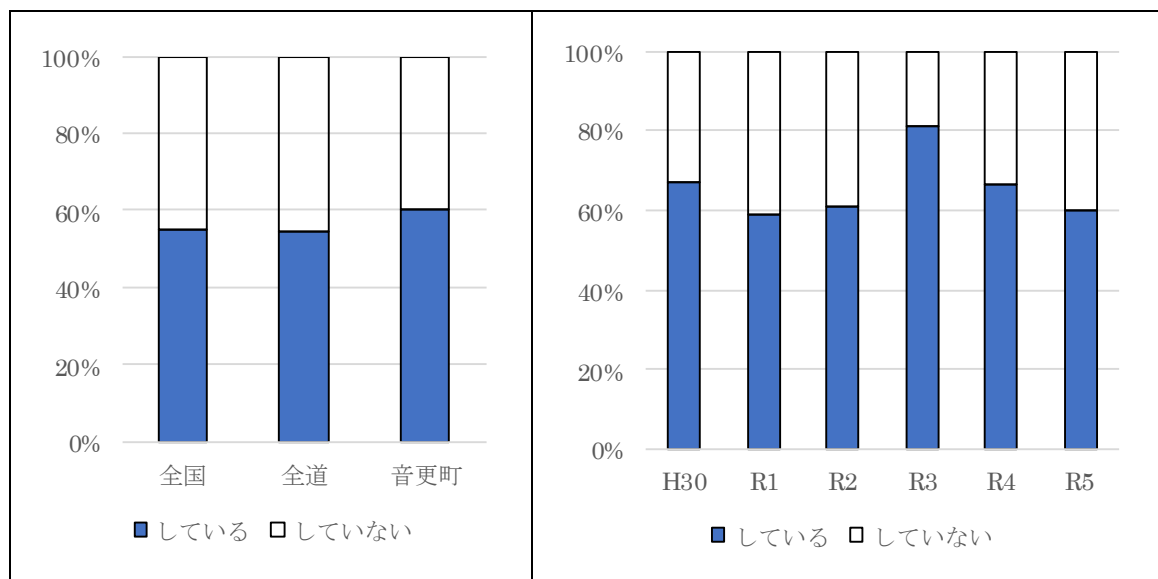


「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した割合は、76.0%で、全国より5.3ポイント、全道より1.5ポイント上回った。経年比較では、「している」の回答率が76%で、前回は4.2ポイント上回り、H30年度から70%台の割合を維持している。

<中学校>

【令和5年度】

【経年変化】



「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した割合は、60.2%で、全国・全道より約5ポイント高い結果となった。経年比較では、「している」の回答率が前回は6.5ポイント下回りR3年度を境に下降傾向が続いているが、H30年度より60%をほぼ上回る数値を維持している。